

禁酒に失敗し続ける方法



東郷 潤

お酒で、しょっちゅう失敗をする、とっても駄目な自分がいます。

お父さんが、またお酒を飲んで暴れている



そこである日、一大決心をしました。



でも、しばらくするとお酒を飲みたいなくなっていました。

禁酒を決意したのにお酒を飲みたいなんて、自分の中にもう一人、悪い自分がいるとしか思えません。

ほら、お酒が
お前を呼んでるぞ。



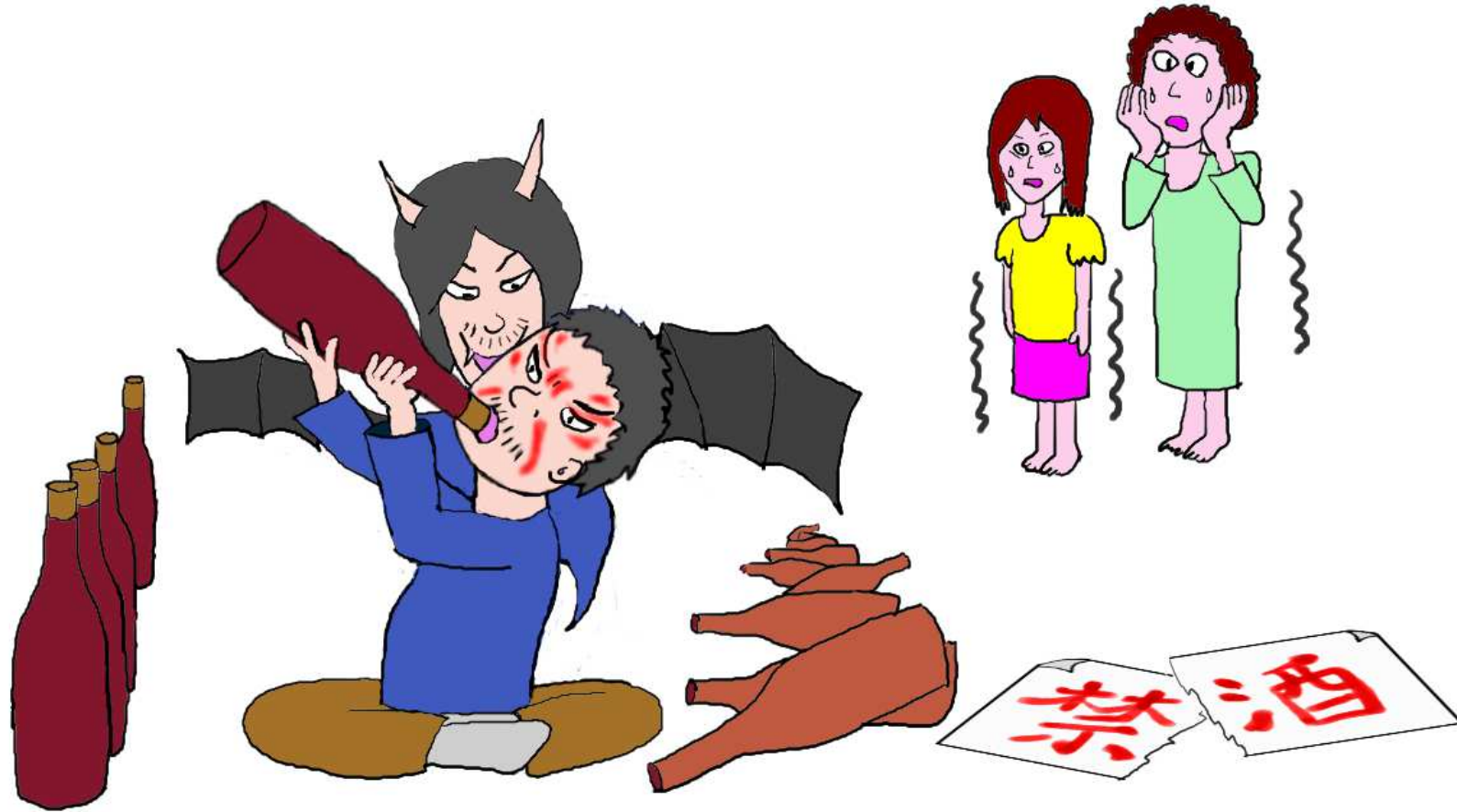
・・・そう、悪い奴は悪いことをするものです。



い、いっぱいだけ！

ああやっぱり！ 悪い自分がお酒を飲んでしまいました。

むろん悪い奴は、適度に飲むなんて正しいことはしません。



ボロボロになって、もう飲めなくなるまで、お酒を飲みつづけるのです。なにしろ、悪い奴
なのですから！

翌日、目覚めると二日酔いでひどい頭痛がします。



自然に、激しい後悔と怒りの気持ちがわいてきました。



悪は罰さなければいけません。



悪い自分を罰すると、後悔も怒りも消えました。



ああ、なんだかとてもスッキリした。
今の俺は、もう今までの悪い自分じゃない。
本当の、善なる自分に戻れたんだ。

そして、善なる自分が、正しいことを決意しました。



もう二度とお酒は
飲まないぞ。

P. 4へお戻りください。

飽きたら、P. 12へお進みください。



**お酒を我慢する代わりに
悪を責めていけば、
禁酒に失敗できます。**

あとがき —絵本「禁酒に失敗しつづける方法」

善悪という言葉の周りには、多くの誤解や錯覚が存在するようです。

そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、様々な悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(善悪の錯覚の詳細については弊社著「善悪中毒」(リベルタ出版)をご参照ください。)

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、ご紹介していただければとお願いいたします。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009